



理事長 小原 澤 友伸

こはらざわ・とものお ●東京医科歯科大学総合診療科を経て、2002年に医療法人社団歯整会のおぶ:デンタルクリニック開院。04年、おぶ:デンタルクリニック三宿開院。

おぶ:デンタルクリニック

原因を見据えたかみ合わせ治療で 歯ぎしり・食いしばりの改善を

歯ぎしり・食いしばり 専用プログラムを開始

起床時、就寝時に歯ぎしりや歯の食いしばりをしてしまふ人は年齢を問わず多い。中には大きな問題はないと考えられて放置している人もいるだろう。それに対し、「歯ぎしり・食いしばりを続けているとあごの筋肉や骨が発達して関節の繋ぎ目に負担がかかり、顎関節症の発症につながります。更にひどくなると頭蓋骨の歪みを引き起こすのです」と、おぶ:デンタルクリニックの小原澤友伸理事長は指摘する。

同院では、歯ぎしり・食いしばりを治療するため、専用のプログラムを提供している。プログラムでは、歯が欠ける

周囲の組織に異常が生じるなど、直ちに治療が必要な急性期と、日常で症状を感じる慢性期に分類。急性期では強い力を吸収するためのマウスピースと、筋肉を弛緩させる治療を併用する。そして、急性期の処置後や慢性期の症状には、かみ合わせ治療専用のマウスピースを使用していく。

呼吸に適したあごを作っていく

プログラムで重視するのは、呼吸に適したあごの位置、すなわち「呼吸位」を整えることだという。上顎の未発達などが原因で呼吸がしづらい場合、就寝中に無意識のうちにあごを動かして気道を確保しようとしてしまう。その状態

の改善を目指すことが望ましいのだ。「生体に取って最大のストレスは呼吸が抑制されることです。それを補おうとしてかみ合わせをずらすことが歯ぎしり・食いしばりを引き起こし、結果全身に疲れも生じてしまいます」と説明する小原澤理事長。多くの人の歯・あごの形を調べた結果、睡眠時に顎関節を外してまで気道を確保しようとする顎運動があることさえ分かってきたという。こうした点も踏まえて治療を進めていき、マウスピースだけで治療が困難な症例には、ランパセラピーという、顎の成長を促す矯正治療も用いる。

同院では、かみ合わせ治療に限らず、歯の欠損への治療



ミラクルデンチャーと呼ばれる新型の部分入れ歯。独自の固定法により、残りの歯への負担を抑えつつ、しっかり入れ歯を固定することを目指す

や歯周病治療などを幅広く提供し、最新治療にも常に目を配っている。一例として固定力が強く、違和感の少ない新型の部分入れ歯も導入した。「歯科医療には歯の治療のみにとどまらず、咬合を通じた全身のバランスを整える役割もあると考えています。その実現のためには幅広い治療が求められるのです」として、小原澤理事長は、患者の健康のため、常に学び続けている。

取材/鈴木健太



専用のマウスピースでかみ合わせを調整し、呼吸のしやすい状態を目指していく

医療法人社団 歯整会

診療科目: 歯科、小児歯科、歯科口腔外科、矯正歯科

おぶ:デンタルクリニック本院
<http://www.nobudental.com/>



〒158-0091
東京都世田谷区中町4-17-9 粕谷ビル1F
TEL.03-5760-4618
診療時間: 平日 10:00~13:00/14:30~20:00
 土日 10:00~13:00/14:30~18:00
休診日: 祝 駐車場あり バリアフリー対応

おぶ:デンタルクリニック三宿
<http://www.nobudental.com/>



〒154-0002
東京都世田谷区下馬1-20-13 コーワビル1F
TEL.03-3487-4618
診療時間: 月~土 10:00~13:00/14:30~20:00
休診日: 日・祝 駐車場あり 完全個室
噛み合わせ・顎関節症サイト <http://ago118.com/>

※ランパセラピー、ミラクルデンチャーは自由診療。費用はランパセラピーが80万~120万円(難易度によって異なります)、ミラクルデンチャーが15万~30万円